

プロジェクト名称	松野地区SDGs推進プロジェクト ～住民主体でつくる持続可能な地域社会～		
申請者	一般社団法人松野地区まちづくり協議会	連携先	

取組内容の詳細（図示、説明等）

誰一人取り残さない地域社会

地域の主体性や持続力による地域課題解決

自治体任せではなく、地域主体の持続可能な運営体制の確立

交通

交流

文化

教育

試行中
新規構想中
事業の
定着化

「子育て世帯の主体的参加の拡大」

夏祭り企画運営から始める多世代交流

三世代交流「おぐるまふれあい食堂」

子どもや高齢者が自然な見守り・助け合い

地域交通支援「松野そよ風」

高齢者や交通弱者の移動・生活の不安解消

「富士川伝統漁法体験プログラム」

地域文化や自然資源の次世代に継承

持続的な活動に必要な資機材の購入

取組のポイント

地方創生SDGsへの貢献度

本事業は、住民自らが地域課題に向き合い、交通・交流・文化・教育の各分野で持続可能な仕組みを構築することを目的としています。SDGsの理念に基づき、誰一人取り残さない地域社会の実現を目指します。

実現性・将来性

地域交通支援「松野そよ風」、三世代交流「おぐるまふれあい食堂」、地域夏祭り「おぐるま夏祭り」のいずれも現在実施している事業を持続可能にするための投資であり、「富士川伝統漁法体験プログラム」についても関係機関や関係者との協議によるものであります。

先進性・独自性

住民の間には「課題は行政が解決するもの」という受け身の意識が根強く、地域の主体性や持続力が問われています。本事業は、住民自らが地域課題に向き合い、交通・交流・文化・教育の各分野で持続可能な仕組みを構築することを目的としており、独自の活動となっています。

関与する主体の多様性・規模

松野地区のまちづくり組織である一般社団法人松野地区まちづくり協議会が主体であり、幅広い住民の参加が見込まれます。